

令和2年度 10月号

令和2年9月30日発行

横浜市立東汲沢小学校

# “輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

## 台風シーズンの到来…

副校長 丹野 一郎

今年は残暑が厳しく、9月に入っても気温の高い日が続きました。そのため、東汲沢小学校でも熱中症を警戒して、休み時間の外遊びや体育の授業内容を制限することがありました。学校生活において、新型コロナウイルス感染症による制限が少しずつ緩和されてきたところに、今度は熱中症が影響するようになりました。思うように外で遊ぶことができずに残念がるひぐみっ子たちの姿がかわいそうでなりません。

そうかと思っていると今度は、台風シーズンが到来し、雨天の日が多くなることが考えられます。近年、日本列島に台風がやってくるたびに、「今までに経験したことがない記録的な大雨や暴風になる恐れがあります…」という気象庁の発表があります。また、狭い範囲に短時間で猛烈に降る雨（いわゆるゲリラ豪雨）が、全国各地で観測され、被害が報告されています。とくに今年は、日本近海の海面水温が高いまま下がらず、大型の台風や豪雨が発生しやすい状態になっているそうです。

さらに、先日、ある新聞記事が目にとまりました。今年に入ってから、アフリカや中東、インド、ヨーロッパの一部などで数十年ぶりの規模でバッタが大量発生し、数千万人分の食料供給が脅かされているということです。1つの群れには1平方キロあたり4千万匹から8千万匹ほどのバッタがいるとされ、1日で約3万5千人が消費する食料と同量を食することができるかと推定されています。このバッタは「サバクトビバッタ」というアフリカと中東の乾燥した地域に生息していて、大雨が降って植物が繁茂すると大発生するそうです。東アフリカとアラビア半島では、過去2年間でサイクロン（日本でいう台風）に複数回見舞われるなど、異常に雨の多い天気が続いたことが原因とみられているようです。やはり、近年の自然災害の増大化は、地球規模の気候変動が大きく影響していると思われる。

東汲沢小学校も、昨年度の台風15号と19号の影響を大きく受け、臨時休校になったり、校舎の一部にも被害が見られたりしました。今年度は同じような影響を受けないようにと祈るばかりです。台風、豪雨、地震などの自然災害は、未然に防ぎようがないため、起こったときに被害を最小限にすることを考えて、事前に十分な準備をしておくことが大切です。東汲沢小学校では、日頃から「点検」「避難訓練」「教職員研修」「安全教育」といった危機管理体制の整備とともに、職員の危機管理意識の維持高揚を図っておきたいと思えます。

また、今年度は、地球規模の気候変動にともなう自然災害とあわせて新型コロナウイルス感染症拡大防止についても対策を考えなければなりません。「東汲沢小学校地域防災拠点」では、日頃より、運営委員会の方々が、感染症拡大防止を踏まえた避難所の開設・運営について計画をしてくださっています。

今後も、臨時休校、引き取りのお願い、下校時刻の変更など、緊急のお知らせをさせていただくことがあるかもしれませんが、ご家庭におきましても、「マチコミ」メールおよび学校ホームページのご確認をよろしくお願ひします。今月は、「日光修学旅行」や「ひぐみオリンピック」などの行事が予定されています。いずれの行事も、天候に恵まれて無事に実施できるように、また、休み時間の外遊びが一日でも多く行えるように、せめても、私自身の「日頃の行い」を見直しておこうと思ひます。